

★ 複合循環式陸上養殖システム ★ 小規模実用化モデルプラント建設計画

高知大学海洋研究所内で行われている、「複合循環式陸上養殖システム」の実証実験は改良工事も終了し、最終データ集積に向けて進行しています。

実証実験は、平成22年4月まで継続しますが、併行して「小規模実用化モデルプラント」の建設計画も進んでいます。本システムは、年間2,26tのアワビ生産だけで4年以内に損益分岐点に到達できる事業です。加えて、ノリの生産がありますので、極めて有望な事業です。

今般、実施設計図も完成し、近日関係者に公開する予定です。新しい会員の方々もおりますので、これまでの経過を簡潔に記しておきますので参考にしてください。ご案内のとおり本最終実証実験は、アワビに関して

- 平成9年～12年 日立金属株式会社と共同研究所(埼玉県熊谷市)を設立。
オーストラリア、アメリカ、カナダのアドバイザーと共に、「循環式陸上養殖システム」に関する、コンサルティング
- 平成14年～16年 北海道大学北方生物圏フィールド化学センターと共同研究。
- 平成17年～18年 神奈川県真鶴市にて、実証実験。
- 平成20年～22年 高知大学海洋研究所にて「複合循環式陸上養殖システム」の共同開発。最終データ収集。

上記経過と実績に伴い本プロジェクトが振興しています。

同時に、小中学生向け実験用教材及び家庭用の「超小規模システムの開発」も行っています。



▲ 室戸漁業組合ノリ生産現場



▲ 平岡准教授と原口担当(博士課程)